

# 新進、ミャンマーで合弁

## 冷凍野菜を国内供給

前橋市に生産拠点を置く食品製造の新進(東京都千代田区、鶴島忠作社長)は11日、ミャンマー国内に、現地法人など4事業者と共に合弁会社「ミャンマー・アグリ・フーズ」を今月末に設立すると発表した。ホウレンソウやサトイモといった野菜を冷凍した商品を年間5千t生産し、日本国内で新進などが原料として使用する。冷凍野菜の分野で日本企業がミャンマーに合弁会社を設立するのは初めてという。

### Myanmar Agri Foods Co., Ltd. 設立合同記者会見



合弁会社設立の会見で握手する新進の鶴島社長(右から2人目)ら

新進などが昨年設立した乾燥野菜製造の合弁会社「ミャンマー・ベ」の相乗効果を図る。新進のほかに設立に

加わるのは、業者向け冷凍食材販売の京果食品(京都市)、商社のリーテイルブランド「ミャンマー・ベル(ミャンマー)、冷凍食品製造会社を運営するエ・テ・ヤン氏(台湾)、資本金50万米ドルのうち、それぞれ30%を出資する。ミャンマー・アグリ・フーズは、首都のネビドーに設立する。6・8畝の敷地に6500平方メートルの工場を建設し、年内の初出荷を目指す。ミャンマー・ベル社長のイェ・ミン・マウン氏が社長に就く。

う。国内では残留農薬などの検査体制が整っていないため、タイ・バンコクで検査を受け、安全基準を確保する。当面はホウレンソウとサトイモのみだが、将来的にアスパラガスやインゲンの冷凍商品も製造する方針。都内で記者会見に臨んだ新進の鶴島社長は「自社の総菜製品の原料として安定的に仕入れることで相乗効果を図れる」と話した。

ミャンマーは電力供給が不安定だが、ネビドーは発電所に近く安定供給を得やすいとい

# 新進、ミャンマーに合弁

## 冷凍野菜を製造・輸出



Myanmar Agri Foods Co., Ltd. 設立合同記者会見  
左から、エ・テ・ヤン取締役、賀川和彦会長、イェ・ミン・マウン社長、鶴島忠作副会長、秋元

新進はミャンマーでホウレンソウ、里芋など冷凍野菜の製造・輸出を始める。「ミャンマー・アグリ・フーズ(MAFF)」の合弁設立契約を日本、ミャンマー、台湾の4事業者と締結した。3月末に設立し10月にはミャンマー・ネビドーに工場が完成、年内にも日本向けに輸出を開始する。生産能力は冷凍野菜換算で年間5000t、原料野

新進はミャンマーでホウレンソウ、里芋など冷凍野菜の製造・輸出を始める。「ミャンマー・アグリ・フーズ(MAFF)」の合弁設立契約を日本、ミャンマー、台湾の4事業者と締結した。3月末に設立し10月にはミャンマー・ネビドーに工場が完成、年内にも日本向けに輸出を開始する。生産能力は冷凍野菜換算で年間5000t、原料野

葉では1万2000t、初年度は2000tを見込む。ミャンマーの事業は、昨年から新進と乾燥野菜を製造販売する合弁事業を開始している。ミャンマー・ベル社、新進のミャンマーへの出資は2社目。11日に発表したMAFFの資本金は50万米ドル。合弁に参加した企業は京果食品(日本、出資比率30%、金額15万米ドル)、ミャンマー・ベル社(ミャンマー、30%、15万米ドル)、新進(日本、30%、15万米ドル)、リ

テイルブランドイング(日本、5%、2万5000米ドル)、ユテ・ヤン氏(台湾、5%、2万5000米ドル)。所在地はネビドーのレンマナで工場敷地面積は6・8ha、工場建築面積は6500㎡、従業員数は350人の予定。MAFFの会長に賀川和彦京果社長、副会長に鶴島忠作新進社長、代表取締役社長にイェ・ミン・マウン・ベル社長、取締役には秋元之浩リーテイル社長と個人投資家のユ・テ・ヤン氏が就任する。賀川会長によれば、5社それぞれがミャンマーでの野菜事業を検討していたが昨秋、冷凍野菜を中心とする工場設立で合意。「日本に食材を供給し、ミャンマーに農業技術を移転して貢献する」(同会長)。マウン社長は「頑張って農産物を日本に輸出しよう」と会社が始まった」とあいさつした。(小島麻由美)

# 新進など ミャンマーで合併設立 冷凍野菜を製造・輸出

ミャンマーで冷凍野菜の製造・輸出を主目的とする企業「ミャンマーアグリフーズ」の合併設立契約が今年1月、日本、ミャンマー、台湾の3事業者によって締結された。合併設立に参加した企業は日本から京果食品、リーテイルランド、新進、ミャンマーからミャンマーベル、台湾から個人投資家の事業家で、ミャンマーの豊富な農産資源を最大限に活用し、幅広い食品加工用として日本市場を中心に輸出する。

2年目からは目標の5千トンを実現する見通し。合併会社の役員には、会長に廣川和彦(京果食品社長)、副会長に藤島忠作(新進社長)、代表取締役社長にイェ・ミン・マウン(ミャンマーベル社長)が就任する。京果食品は冷凍野菜、冷凍水産品を中心とした食品の製造・輸入販売を行っている。新進は

産物大手の新進は今回の合併の中核をなすミャンマーベル社と乾燥野菜などの製造販売を主事業とする現地合併会社「ミャンマーベル新進フーズ」を昨年9月に設立している。3月1日に都内で行われた記者会見で、今回の合併設立について新進の藤島社長は「また多くの農産資源が活用される」と歓迎している。これからの計画は、可能性が考えられる。当社の技術を活かして、ミャンマーに活用する必要がある。産物は原料原産地表示があり品質も増やして、ミャンマーも有力な原料供給国になるという。ミャンマーは



記者会見の様相